

# FUNERAL INFORMATION

千代田セレモニー

## Ceremony

本 部 ☎ 03 - 5837 - 3451

相模原 ☎ 042 - 753 - 2321

2021 June 6

24時間いつでもお電話下さい、葬儀に関するすべてのご相談に応じます。

この情報紙に記載されている内容に関しましては、地域の習慣・風習などにより異なる場合があります



### チャグチャグ馬コ<sup>うまっこ</sup>

岩手県滝沢市／盛岡市

日本のまつりの多くは、農耕文化から生まれています。岩手県の「チャグチャグ馬コ」もそのひとつ。人とともに暮らし、農耕を助けた馬をねぎらうために始まり、牛馬が農業機械に代わった今も毎年6月に開かれています。

チャグチャグ馬コが始まったのは意外と新しく、1930(昭和五)年のこと。馬を大切にする岩手の南部地域では、以前から端午の節句に馬の無病息災を祈る風習があり、このまつりも当初は旧暦5月5日におこなわれていました。1958年から6月開催となり、初夏を告げる風物詩として親しまれてきました。

まつり当日には、華やかな飾りを着けた100頭近くの馬が、滝沢市の<sup>おにこしろうぜん</sup>鬼越蒼前神社から盛岡市の森岡八幡宮ま

でを行進します。田植を終えた田んぼや市街地を通る行程は約14km。馬の背には昔ながらの衣装をつけた子どもが乗り、男女の曳き手が連れ添って、約4時間の道のりを行います。

その一番の魅力は、何ととっても馬に付けられた<sup>しょうぞく</sup>装束でしょう。良質の麻を染色した手編みの布をかけ、<sup>くら</sup>鞍や飾りぶとん、吹き流しと呼ばれる垂れ幕などを飾ります。この装束には、1頭当たり700個とも言われる鈴が付けられています。なかには、鳴り輪(リング型の大鈴)を付けている馬もいます。

チャグチャグ馬コというユニークな名前は、何頭もの馬が歩いていくつもの鈴が鳴り、「チャグチャグ」と聞こえることに由来します。目だけではなく、耳でも楽しめるまつりなのです。ちなみに、その音は環境省の「残したい日本の音風景百選」にも選ばれています。

2020年のチャグチャグ馬コはコロナ禍で中止されましたが、再開の時には、ぜひその音を聴いてみてください。

### 郷土玩具の魅力もお忘れなく

チャグチャグ馬コにちなんで、戦後につくられた郷土玩具。縁起物として人気があります。まつりとともに、こうした地域産品も残していきたいですね。



# 一度は行きたい 神社仏閣巡り

第6回

## 高野山 総本山金剛峯寺

訪れた人にしか分からない、厳かで神聖な空気感…。誰もが一度は行ってみたいと思う「神社仏閣」をご紹介します。心洗われる歴史、心癒される自然、そしてその地にゆかりの深い名産品などを知って、まずはここで旅気分を味わってみませんか。第6回目は和歌山県の高野山にある「総本山金剛峯寺」。弘法大師・空海が816年に真言密教の根本道場を開いたのがここ「高野山」。1200年超の歴史を秘めた山上の宗教都市であり、澄んだ空気と厳かな雰囲気为一体となった特別な場所。ここなら脱日常の静かな時間を過ごせること間違いなしです。

### ●「一山境内地」の尊厳。

「金剛峯寺」という寺号は、1つの寺院の名称になってはいますが、「総本山金剛峯寺」という場合は「金剛峯寺」だけではなく高野山全体を指します。普通、お寺といえば一つの建造物を思い浮かべ、その敷地内が境内となりますが、高野山は「一山境内地」と称され、高野山の至る所がお寺の境内地であり、高野山全体がお寺という認識なのです。高野山内に点在する117のお寺は塔頭寺院と呼ばれ、その他にも様々な名所が多く存在します。「総本山金剛峯寺」を訪れる前には、ご自身のお好みルートを探索してみるのもいいかもしれません。

### ●まずは高野山の総門「大門」。

「大門」は高野山の総門で、俗世と聖域を分かち結界の役割をも果たしています。世界遺産にも指定されている国内最大級の木造二重門に加え、ひと際目を引く鮮やかな朱塗りは壮

観。さらに、門の両脇には迫力ある阿形像、吽形像からなる金剛力士像が配置されており、参拝者を凛々しく迎え入れています。この大きな門をくぐれば、弘法大師・空海によって作り上げられた天空の一大宗教都市へとつながります。

### ●聖地「奥之院」は外せない。

弘法大師・空海信仰の最も重要な聖地であり高野山の中心地の一つ「奥之院」にはぜひ、足を運んでいただきたい。ここには、弘法大師・空海が今も生きていとされる御廟があり、そこへ続く参道には樹齢数百年の杉木立がそびえたち、神聖な雰囲気包まれています。また、参道には織田信長や武田信玄、豊臣秀吉など名だたる戦国武将たちの墓石をはじめ、慰霊碑や供養塔などの石塔がずらり。その途中には、「姿見の井戸」もあり、井戸を覗き込んで自分の影が映らなければ3年以内に落命するという怖い言い伝えがあるそう。これは高野山七不思議のひとつになっています。

### ●多彩な魅力をもつ「金剛峯寺」。

「金剛峯寺」は1593年に豊臣秀吉が亡き母のために建立した「青巖寺」が起源。明治時代に「興山寺」と合併し、弘法大師・空海がお経から命名したといわれる「金剛峯寺」に改称。総坪数は約48300坪にも及び、境内にある日本最大の庭園「蟠龍庭」は一見の価値ありです。その他にも豊臣秀吉に追放された秀次が自刃したとされる「柳の間」や、天皇・上皇の応接間として使われた「上壇の間」など見所たくさん。大広間で休憩をしながら、空海の肖像画や曼荼羅を眺めるのもいいかもしれませんね。

### ●二大聖地のひとつ「壇上伽藍」。

「奥之院」と並び高野山の二大聖地として今も人々の信仰を集めているのが「壇上伽藍」。「壇上伽藍」の根本大塔は唐から帰国した空海・弘法大師が真言密教の教えを体現する象徴として建てられた根本道場。日本最初の多宝塔であり、塔内にはご本尊、大日如来を取り囲むように四仏が祀られ、立体の曼荼羅世界が広がっています。密教の教えの通り、時計回りに参拝するのがおすすめです。高野山でも特に美しいこの大塔は「金剛峯寺」から歩いて10分程の距離。「金剛峯寺」お参りの後はぜひ「壇上伽藍」へ行ってみてください。

× ご当地  
コラム ×

～時代を超えて長く愛される、古き良き味わい～

1200年超の歴史を誇る真言密教の聖地「高野山」。2004年には「紀伊山地の霊場と参詣道」として世界文化遺産にも登録され、世界中から観光客が訪れる人気の観光地となりました。長い歴史と信仰文化が息づく「高野山」には、伝統ある老舗の銘菓や地域の名産品が数多くあります。なかでも高野山名物といえば何ととっても滑らかな舌触りと濃厚な味が楽しめる「胡麻豆腐」。わさび醤油でシンプルに頂くもよし、和三盆や黒蜜をかけてスイーツ風に食べても美味しく頂けます。さらに、両面を芳ばしく焼き上げた平らな「やきもち」も古くから参拝客に親しまれてきた人気のお菓子です。

# くらしのなかで 脳トレに チャレンジ!



おじいちゃん

定年退職をきっかけに、心身の健康づくりに目覚めた65歳。最近では脳トレに一生懸命。



あかりちゃん

小学6年生の元気な女の子。ちょっと口うるさいけれど、おじいちゃんのことが大好き。

## 【絵手紙】



あれ?おじいちゃん、絵を描いてるの?



絵手紙だよ。最近、知り合いからよくもらうんだ。返事を出そうかなと思ってね。



本格的だね。こんな絵の具があるんだ。



これは顔彩がんさいといって、日本画用の絵の具だよ。水彩画の絵の具でもいいんだけど、顔彩は日本の伝統色を基本にしていて独特の味わいが出るんだ。



そうなの?



季節の草花や野菜、果物なんかの色に合うんだよ。絵手紙にルールはないけど、せっかくだから本格的にやろうと思って。



ルールはないの?大きな絵が描いてあって、短い文章があって、ハンコみたいなのが押してあるイメージだけど…



確かにそうだね。墨で輪郭の線を描いてから、色をつけていくパターンが多いね。



でも、絵も字も何だかなくねしてるっていうか、上手じゃないよね。



それが味わいなんだよ。写真みたいな絵ときれいな字で描くことが目的じゃないんだ。



それにしたって、おじいちゃんの絵手紙、ちょっと下手すぎない?



これは、左手で描いたんだよ。



おじいちゃんは右利きでしょ?



利き手じゃない手で絵を描いたり、文字を書くのは、認知症予防の脳トレになるそうだよ。下手な絵や字も味わいになるかなと思って挑戦したんだ。



じゃあ、この絵手紙は練習なんだね。



いや、昔の友達に送るよ。



え!これを見たら、心配されちゃうよ。



それでいいんだよ。コロナ禍で人と会う機会が減って、体や心の調子を悪くしている人が多いらしいから。



おじいちゃん、前に言ってたね。人と会って話すことが一番の健康法だって。



直接は会えないけど、絵手紙で「左手で描いたぞ」「何をバカなことやってるんだ」とか笑いあえれば、お互い楽しいじゃないか。



そういうことか。おじいちゃんって、意外と考えてるんだね。



…。



# 世界を変える 最新技術

## 都市は森になれるのか - 木造超高層 -

大都市の象徴といえば超高層ビル、未来都市を彩るのは摩天楼の鮮やかな明かり、そう考える方も多いかもありません。

一方、木造建築といえば、未来とは逆に、古き良き歴史を感じるものではないでしょうか。

しかし昨今、伝統的な木造建築のものであった「木」が、超高層ビルへの新しい素材として注目され、再び建築のトレンドとなってきたのだそうです。

まず、木材は再生可能な資源であること、そして建築廃棄物も大幅に少なくなり、またその軽さから、輸送エネルギーの節約にもなるということなどから、建築時のCO<sub>2</sub>(二酸化炭素)排出量を大幅に減らすことも期待されています。

「CO<sub>2</sub>の固定化」という建築用語がありますが、これは、排出されたCO<sub>2</sub>を炭素化合物として留めることにより、大気中のCO<sub>2</sub>を減らすことを言います。人工的、物理化学的な固定法の開発も進められていますが、生物学的な

CO<sub>2</sub>の固定法としては、植樹や森林の再生がまず挙げられます。

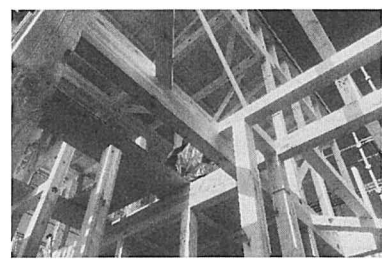
この観点から言えば、育つまでに何十年もCO<sub>2</sub>を吸収し続ける木材は「CO<sub>2</sub>を固定化」する最たるものであり、それを建築材とする木造建築は、CO<sub>2</sub>の固定量を拡大する環境にやさしい建物になります。

日本は先進国の中でも有数の森林率を誇り、ここ50年の間でその資源量は3倍にもなっています。「CO<sub>2</sub>を固定化」する木材を多く活用し、木材の成長量も同じく上げていくことで、森を健全に保ち、さらなるCO<sub>2</sub>吸収量を確保できるというわけですね。

海外では既に、ドイツで開発された高強度、高断熱性、高耐震性、高遮音性、高耐火性を備えた「直交集成板」という、木を貼り合わせた素材を使用した木造高層建築が実現しています。

日本においても、去年2020年の2月、住友林業が、2041年に高さ350メートル、地上70階建の木造超高層建築の構想を発表。また、三井不動産も、昨年秋に、高さ70m、地上17階建ての木造オフィスビルを建てる計画を発表しています。こちらは、2025年の完成を目指し、場所は東京・日本橋とのこと。

私たちの未来都市は、果たして新しい「森」になれるのか。希望あふれる新技術と新構想に注目していきましょう。



あれこれ 大百科 

## 香典返しのタイミング

お通夜や葬儀で故人にお供えいただいた香典へのお返しは香典返しです。お悔やみいただいた方へのお礼の気持ちはもちろん、弔事を滞りなく終えたことへの感謝を伝えるためにも、正しいマナーで対応することが大切です。まず、香典返しをするタイミングですが忌明けの頃を目安としましょう。宗教・宗派により時期は多少異なりますが、亡くなられた日から30日～50日後に渡すのがいいとされています。本来、喪主が記念の品を持参して手渡すのがマナーですが、核家族化が進む現在は、親族一軒一軒を訪ね歩くのが難しいなどの理由から、挨拶状と共に配送するのが一般的となっています。

## 香典返しの予算

日本特有の「半返し」の慣例に従って香典返しの予算は、いただいた香典の半額が一つの目安とされています。しかし、近年では半分では多すぎるという考えもあり、3分の1～半分程度の予算で準備するのが一般的となっています。いただく香典がそれぞれ異なりますの

で、香典返しも3種類ほどの価格帯で用意するといいでしょう。つまり、お通夜、葬儀の時にいただいた金額はしっかりと控えておくことが大切です。

## 香典返しの掛け紙・表書き

香典返しの掛け紙は一般的に「黒白結び切り」。しかし、宗教や宗派、地域性によって模様や柄が異なるので注意が必要です。また、表書きもそれぞれの宗教や宗派で決まりがあるので、あらかじめ確認しておきましょう。代表的な香典返しの表書きとしては「志」、神式やキリスト教式では「偲び草」、関西から西日本、北陸では「満中陰志」などがあります。

## 贈り物のマナー。

香典返しの品物について、肉や魚は「四つ足生臭もの」と呼ばれ、昔から避けられているほか、お酒などの嗜好品も贈らないのが常識です。香典返しの定番としては「食べたらなくなる」お茶や海苔などの食品や、「使ったらなくなる」洗剤や石鹸などの日用品、いわゆる「消えもの」が良いとされています。最近では相手に選んでいただくカタログギフトなども人気のようです。

日本人が発見した第五の味覚  
— Umami —

和食の真髄「うま味」は「第五の味覚」とも呼ばれることをご存知でしょうか。

うま味は、ケンブリッジ英語辞典でもそのまま umami と表記され、「甘み・酸味・塩味・苦味ではない、しばしば第五の味と呼ばれる」味覚であると説明されています。

「うま味」の認知以前、味覚は「甘、酸、塩、苦」を基本とし、それらのバランスが良いからうま味を感じる、また、うま味は4つの味の引き立て役でありそれ自体は味ではないという欧米の考え方が主流だったのです。

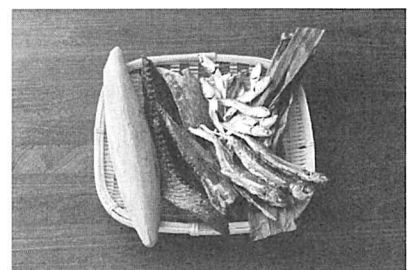
その「うま味」は、東京帝国大学教授 池田菊苗により1908年、昆布の中の「L-グルタミン酸ナトリウム」で発見、翌年の論文の中で命名、提唱されたものです。

また、鰹のうま味成分「イノシン酸」は1913年、池田氏の弟子である小玉新太郎により発見。そして椎茸に含まれる「グアニル酸」は醤油会社の研究所に勤務していた國中明氏により1957年に発見されました。

そこからさらに、いわば「公式に」うま味の存在が認められたのは、舌の感覚細胞からうま味物質の受容体を発見したハーワード医科大学の研究であると言えるでしょう。こちらは、2002年です。

和食文化とともに大きく広がった umami。今ではアメリカのハンバーガーショップの店名にも使われているほど一般的なのだとか。

うま味の歴史とは、長いようで、短いようで何とも不思議なものですね。



# FUNERAL INFORMATION

千代田セレモニー

## Ceremony

本 部 ☎ 03 - 5837 - 3451

相模原 ☎ 042 - 753 - 2321

2021  
July

7

24時間いつでもお電話下さい、葬儀に関するすべてのご相談に応じます。

この情報紙に記載されている内容に関しましては、地域の習慣・風習などにより異なる場合があります



### 那智の火祭り

和歌山県／那智勝浦町

日本のまつりの多くで、「火」は重要な役割を担います。なかでも有名なのは、熊野那智大社の例大祭である「那智の火祭り」。別名を「扇祭り」といい、巨大な扇神輿と松明が競演する勇壮なまつりです。

世界遺産にも登録された熊野三山のひとつ熊野那智大社は、神武天皇にゆかりがあるとされる那智大滝をご神体とする神社です。始めは、滝を神とする修験者たちの祈りの場所でしたが、317(仁徳天皇五)年に、滝から500mほど離れた現在の場所に社殿を建て、広く信仰を集めるようになりました。

那智の火祭りは、年に一度、神々がこの社殿から滝まで里帰りをする儀式です。まつり当日は境内で

田楽舞などが奉納された後、滝の姿を模したといわれる12体の扇神輿(高さ6mほどの板に赤い絹緞子を張り、扇などの飾りをつけたもの)が社殿を出て、参道を通って大滝へと渡御します。

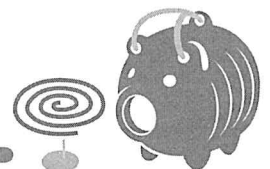
一方、滝の側からは12本の大松明が出発して、急傾斜の石段を上り下りしながら、扇神輿が通る道を浄めます。大松明の重さは約50kg。屈強な若者でも、軽々と持てるものではありません。しかも、火の粉が全身に降りかかります。火の粉を消すための水も、その熱さですぐに湯気となって立ち上ります。

こうして若衆が担ぐ大松明に守られ、12体の扇神輿は無事、滝へと到着します。扇神輿は滝=水。大松明は火。水は生命の根源であり、火は活力を表します。もともとは儀式だった水と火のまつりは、参加する人だけでなく、観る人も元気づけてくれるまつりです。

那智の火祭りは毎年7月14日の開催。昨年はコロナ禍で縮小されましたが、その勇壮な姿をいつか目にしたいものです。

### 熊野三山

熊野那智大社、熊野本宮大社(田辺市)、熊野速玉大社(新宮市)のことで、全国に約4千ある熊野神社の本社。3社を巡る「熊野詣」は平安時代中期に皇族・貴族から始まりましたが、鎌倉時代には武士や庶民にも広がりました。近年は、パワースポットとしても人気です。



# 一度は行きたい 神社仏閣巡り

第7回

## 厳島神社

訪れた人にしか分からない、厳かで神聖な空気感…。誰もが一度は行ってみたいと思う「神社仏閣」をご紹介します。心洗われる歴史、心癒される自然、そしてその地にゆかりの深い名産品などを知って、まずはここで旅気分を味わってみませんか。第7回目は「神に齋く島」という神聖な語源を持つ広島県の「厳島神社」。海にそびえ立つ朱色の大鳥居はもちろん、幻想的な景観と建築美に圧倒される日本屈指の景勝地。宮城の松島、京都の天橋立と並ぶ「日本三景」のひとつ「厳島神社」をご案内します。

### ● 自然と調和する美しい「厳島神社」。

通称「安芸の宮島」として親しまれている広島県の小さな島「宮島」。豊かな自然と、海上に建ち並ぶ「厳島神社」の美しい建築物群とのコントラストが素晴らしく、独創的な景観を作り上げています。中でも、海に浮かぶ朱色の大きな鳥居は宮島のシンボリックな役割を果たし、浄化や運氣アップ、海上交通安全などのご利益があるとされています。

### ● 「神の島」ならではの風景。

「厳島神社」の歴史は古く、創建は1400年以上前の飛鳥時代の推古天皇によるもの。そして現在の「厳島神社」の原型となる社殿群は平安時代の後期、時の権力者である平清盛の命により造営されました。境内は遠浅の浜にあり、干潮時には大鳥居まで歩いていくことが可能。そして満潮時は一転、大鳥居はもとより社殿や回廊までが海に浮かんでいるかのような幻想的な景色が広がります。これは、古来から宮島全体が

神の宿る御神体であるとされていたため、平清盛が「神の島」を足で踏むことがないようにと、海の上に社を建てさせたといわれています。瀬戸内海の潮の満ち引きによっても風景の変化が楽しめる、類い稀な観光地なのです。

### ● 大鳥居の秘密。

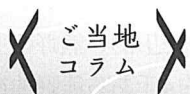
「厳島神社」のシンボルである大鳥居。実は海にただ置かれているだけの建築様式であることをご存知でしょうか。高さ16m、棟の長さ24m、重量は約60tという木造鳥居としては国内最大級の大きさを誇る建造物が、自らの重みだけで建っているというのです。波や嵐で倒れないように、鳥居の屋根の真下には、箱型の島木があり、この島木に約7t分の石を入れて重しにしているという訳なのです。干潮時にはぜひ、鳥居まで歩いて行って、その足元までを確認してみてください。

### ● 平安文化を感じる「寝殿造り」。

大鳥居を眺めた後は、平安時代から旅人たちを見守ってきた「厳島神社」を肌で感じましょう。日本の伝統と歴史を物語る寝殿造りの社殿は圧巻。さらに、神秘的な朱塗りの柱が連なり華やかな表情を映し出す東廻廊は、社殿と海と大鳥居を一度に望めることができる境内屈指のビュースポットです。まるで迷路のような長い回廊を、美しい建物と壮大な景色を楽しみながらお散歩気分で行ってください。

### ● 本殿参拝後は西回廊へ。

東回廊を抜けると、海の守り神とも呼ばれる三女神が祀られている本殿へ。本殿、拝殿は通常参拝の場合に入ることができませんので、手前にある賽銭箱の前でしっかりとお参りをしましょう。そして本殿を抜けて、西回廊へ足を進めると目に飛び込んでくるのが急勾配の「反橋」と呼ばれる丸い橋。この橋は日本にある重要文化財指定の橋の中でも最も古いもので、現在は残念ながら立ち入り禁止ですが一見の価値あります。さらに先にある「能舞台」も日本で5箇所しかない重要文化財の舞台のひとつ。他の舞台とは異なり海上に浮かぶその珍しさも唯一無二の特徴です。こちらも立ち入ることはできませんが、西回廊から眺めることができます。



## ～宮島なら、お腹も心も大満足。～

広島市内からフェリーで約45分、宮島口からなら約10分で行き来ができるという利便性の高さも宮島の魅力です。また、宮島に到着するとすぐに可愛い鹿たちがお出迎えしてくれます。人にとっても良く慣れているので写真撮影などの交流もおすすめですが、紙などは容赦なく食べてしまうのでくれぐれもご注意ください。さらに、フェリー乗り場から「厳島神社」までの間には広島の良いものがすべて揃うといっても過言ではない「表参道商店街」があります。牡蠣、もみじ饅頭、あなご飯、広島風お好み焼きといった名物料理店はもちろん、最近話題の「揚げもみじ」を熱々のまま食べ歩きできるのも宮島ならではの、歴史探求と併せてお店探検もぜひお楽しみください。

# くらしのなかで 脳トレに チャレンジ!



おじいちゃん

定年退職をきっかけに、心身の健康づくりに目覚めた65歳。最近では脳トレに一生懸命。



あかりちゃん

小学6年生の元気な女の子。ちょっと口うるさいけれど、おじいちゃんのことが大好き。

## 【伏せ字言葉で遊ぼう】



う〜ん。これは何だろう？



おじいちゃん、何をしてるの？



伏せ字のクイズを解いているんだよ。脳のトレーニングになるんだ。



伏せ字のクイズって、四字熟語とかでどこかの文字が隠されているやつだよな？ どれどれ？



これだよ。「〇〇引〇」って何だっけ？万有引力かなと思ったけど、ヒントは「ことわざ」だから違うよな。



何言ってるのよ。こんなの「我田引水」に決まってるでしょ。



ああ、そうか！最近、言葉が出てこないんだよなあ。



おじいちゃん、しっかりしてよ。まだまだ元気でもらわないと。



あかりはやさしいなあ。



じゃあ、私が問題をつくってあげね。おじいちゃん、この問題分かる？ みんな歴史上の人物よ。

①高倉 ○

②徳川家○

③浅井○政

④安○と厨子王



徳川家康と浅井長政だろ。安寿と厨子王は歴史上の人物っていえるかな？



そういう細かいことはいいのよ。最初の一人は？



う〜ん、高倉健さんは歴史に残る人だけど…。



ピンポーン、正解です。で、伏せ字のところを上から読んでみて。



えーっと、「健」「康」「長」「寿」。



そうよ。おじいちゃんには、ずっと健康長寿でいてほしいんだからね。



…(涙)。じゃあ、おじいちゃんも問題をつくってあげよう。昔話や童話のタイトルだよ。

①〇〇とギリギリス

②鶴の恩〇えし

③アリババと40人の〇〇そく



えーっと、「あり」「が」「とう」？



そうだよ(照)



何よ。もっと素直に、ありがとうって言えばいいのに。



## 「夢の治療」が医療の枠組みをも変える - 再生医療 -

このところ、耳にすることが多くなってきた「再生医療」。後天的・先天的問わず、怪我や病気などにより損なわれた体の組織を正常な機能を持った状態に再生をさせるもので、本人または他人の細胞や組織を培養することにより実現する医療です。

残念ながら人の指は、なくなってしまえばトカゲの尻尾のように生えてきません。しかし擦りむいた皮膚は、深く大きな傷ではないかぎりそれほど時間をかけずとも傷跡もなく「再生」します。そういった人間にそもそも備わっている力を活用するのが再生医療なのです。

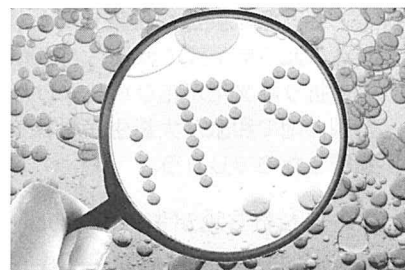
超最新医療というイメージがありますが、広義において再生医療の先駆けであると言えるのが骨髄移植。白血病など血液の病気により正常な血液をつくれなくなった骨髄に、ドナーによる正常な造血幹細胞を移植するものです。ドナーの出現を待ちわびている患者が多くいる一方で、白血球の型が合うのは血縁間であっても

30%程度、非血縁者つまりドナーとの間では数百から数万分の一の確率。それに加え、ドナー側は骨髄を採取するのに全身麻酔、そして入院が必要となり、負担が大きいのが現状。

ではもし「簡単に、そして、拒絶反応の少ない造血幹細胞を作り出すことができたなら」どうでしょう。これがこれからの再生医療の仕事です。

再生医療の中でも特に注目の的となっている「幹細胞」、このうちの多様性幹細胞といわれるものの代表が2012年に日本人のノーベル医学・生理学賞を受賞した山中伸弥氏につくったiPS細胞です。なんと皮膚細胞から作製しているにもかかわらず、何十兆個もの細胞からなる私たち人間の「始まり」である受精卵のように、体のあらゆる組織をつくる細胞へと成長することのできる万能細胞なのです。「夢の細胞」として、ノーベル賞を受賞するのも納得ですね。

一度損なわれれば回復の見込みがなかった機能を再生できるようになったり、また治療後に利用機器や医療機材に頼る必要のない「根治治療」が可能であるため大きな期待が寄せられる再生医療。「医療」それ自体の枠組みすら変える研究が今まさに進められています。



## お盆の由来

一般的によく使われるお盆という言葉は実は略語で、正式名称は「盂蘭盆会」と言います。盂蘭盆会とは、先祖を供養する仏教行事のことであり、現在も多くのご家庭でお盆に法要が行われますが、それは盂蘭盆経の説話に起因する仏教的背景があると考えられています。その説話とは、お釈迦様の弟子が旧暦の7月15日に多くの僧にお布施をし、餓鬼道にいた母親を供養したことで、極楽往生させることができたというもの。この説話に由来し、先祖を旧暦の7月15日に供養する盂蘭盆会が一般大衆にも広く受け入れられ、その習わしが今も継承されているのです。

## 現在のお盆のスタイル

お盆には「先祖があのお世から帰ってくる」というのが周知の事実。しかし本来、このような考え方は仏教にはありません。実は日本には仏教の考え方が入ってくる以前から、旧暦7月頃に先祖の霊が帰ってくるという思想があり、各地で鎮魂のための「みたま祭」や「精霊祭」が開催されていたのです。このような考え方と仏教の盂蘭盆会が徐々に融合し、お盆にはご先祖様が帰ってき

て法要やお墓参りをするといった、現在のお盆の形になったのです。

## 迎え火、送り火とは？

お盆の迎え火とは、先祖の霊が迷わず家に帰ってこられるように焚き、送り火とはあのお世に迷わず帰ることができるように焚く火のことです。昔はお墓や菩提寺に家族全員で提灯を持って行き、お墓の前で提灯に火を入れて持ち帰り、仏壇に移すという流れを迎え火とし、逆に仏壇の火を提灯に移し、お墓や菩提寺で提灯の火を消して、先祖の霊を送り出すというのが送り火の流れでした。しかし現在は家の形態や核家族化に伴い、迎え火・送り火も簡素化されてきています。

## お盆の日にちはいつ？

お盆の日は地域により異なりますが、多くは7月13日～7月16日、または8月13日～8月16日であるのが一般的です。迎え火の日としては、7月でも8月でもお盆初日の13日の夕方、もしくは前日の12日の夕方が多いようです。そして、送り火の日は7月でも8月でも16日の午後、なかでも夕方に行われることが多いようです。



## 日本伝統の遊びから技術革新に？！

### — Origami —

日本では「一度も折り紙をおったことがない」という人は今でもほぼいないはず。折り紙はまさに世代を超えた日本の伝統文化のひとつです。

現代のような遊戯折り紙の形ができたのは江戸時代のこと。製紙製法が伝来したと言われる7世紀はじめてから1000年かけて庶民へと紙が行き渡り、遊戯としての折り紙文化が花ひらきました。製紙技術が発達し、全国各地で和紙が大量生産されるようになったことが影響したのでしょう。

そんな折り紙がそのままOrigamiでも通じる国際

語であるのはもちろん、世界中に愛好家がいることは周知のことですが、海外の製品でも折りたたみ式のカヤックや、またランプシェードなどの商品名にOrigamiの名が付けられているのを見たことがあります。パタンと平たく小さくたたためたり展開できるものにOrigamiの愛称をつけるような例はよくあること。Origamiとは単なる遊戯折り紙だけを指す言葉ではないことがわかります。

実際、人工衛星の展開式太陽電池パネル用に発明されたミウラ折り、簡単に潰せる缶となった吉村パターン、なまこ折りを利用した人工血管など、折り紙の展開・収縮する機能が各種産業分野で実用的に取り入れられ始めています。

楽しく美しい伝統に加え、これから生まれる技術革新としてのOrigamiにも注目していきたいですね。

